東アジア平和教育フォーラム２０２２

日時：　2022年10月27日（木）13時―16時（会場　12時30分）
場所：　早稲田大学　戸山キャンパス　33号館 3階 大会議室

　戦争を体験していない世代が、未来志向の和解と共生を実現するために、いま何が求められているのだろうか。平和教育が幅広く普及する一方で形骸化しているという声もある。そして、戦争記憶と記録の継承が重要な課題として問われている。
　過去の教訓はロシアのウクライナ侵攻、ミャンマー情勢、「台湾有事」、朝鮮半島の緊張関係などの国際関係をはじめ差別や格差、貧困、環境破壊などの地球的共通課題とどのようにつながるのだろうか。
　このような地球的課題を「他人事」とせず、また歴史を過去の出来事にとどめず、現在の課題を解決し、平和な未来を構築するための真剣な取り組みが急がれる。平和教育の方法と理念を考えるうえで、現場型の学びの共有と、学び手の主体性を尊重した実践的フォーラム企画を開催する。

13：00　開催の挨拶　金　敬黙　（早稲田大学・教員）

第一部　基調講演

13：10－13：30　基調 講演１　川崎哲さん（ピースボート共同代表、ICAN国際運営委員）
「手触り感のある平和ゴールの設定と若者の試行錯誤」

第二部　次世代の体験報告と問題提起

13：30－13：50　報　告１　チームWaseda
「ユネスコ世界遺産は平和をもたらすのか－長崎フィールドワークを踏まえて」

13：50－14：10　報　告２　チーム ICU
「2022年の長崎フィールドワークを踏まえて」

14：10－14：30　報　告３　Know Nukes Tokyo & ICAN Youth
「核なき世界をつくる現場でのアドボカシー活動に参加して」

14：30－14：45　休　憩

第三部　ワークショップ

14：45－15：30　グループ討論とアクション・プラニング

15：30－16：00　コメント　参加した学生たち
佐々木　亮さん（元朝日新聞記者）
畠山澄子さん（ピースボート）
堀芳枝さん（早稲田大学・教員）

主催　早稲田大学・韓国学研究所、早稲田大学・文化構想学部・社会構築論系・グローバルアジア研究ゼミ
共催　早稲田大学・アジア研究所、早稲田大学・平和学研究所、国際交流NGO「ピースボート」